日本共産党が伸びれば神戸が変わる

一緒に運動し、市民の要望、着実に前進

子ども医療費― 中学校卒業まで無料化を

「中学校卒業まで医療費を無料に」との運動はどんどん広がっています。日本共産党議員団も、議会が開かれるたびに取り上げ、早急な実施を求め続けてきました。そうした結果、2014年度はワンコインに改善。新年度からは1、2歳児の所得制限が撤廃されます。市民の運動と日本共産党議員団の論戦で、市政を動かしている実例です。大型開発につぎ込むお金の一部を回すだけで実現できます。さらに、運動を強めていきます。

「一日も早く中学卒業まで無料にしましょう」と署名を訴える、きだ結県議（左）と西ただす市議（中央）

中学校給食― 自校調理方式で温かい給食を

中学校給食も、市民の運動が神戸市を動かした事例です。神戸市は「中学校給食の実施」を求める市民や日本共産党議員の質問に「愛情弁当論」を強調し、給食実施を拒みつづけました。10万筆近い署名、議会のたびに提出される請願、陳情など運動が広がる中、2014年度に33校で先行実施、2015年度に全校で実施されることになりました。

しかし、業者弁当による「デリバリー方式」のため、生徒からは「おかずが冷たい」などの声が強く出ています。

小学校と同じような温かい給食にするため、引き続き努力します。

中学校給食のシンポジウムで報告する金沢はるみ議員（2012年2月11日）

借上住宅― 希望者全員の継続入居実現を

高齢者に冷たい姿勢を鮮明にしたのが借上災害公営住宅からの入居者追い出し。大震災で被災し、避難所、仮設、そしてやっとたどり着いた終の棲家。それが、借上住宅だったことを理由に、また、転居を迫られる。入居者は「市役所から手紙が届くたびに、心臓が止まる思いがする」と不安な気持ちを語っています。

入居者を先頭に「希望者の全員継続入居」を求める運動が急速に広がり、兵庫県や神戸市は一定条件での継続入居を認めました。神戸市は12団地の買い取りも決めました。

しかし、高齢者や障がい者だけが残されても、その人たちを支えるコミュニティが壊されたら生活できません。希望者全員の継続入居実現まで頑張り続けます。

本会議で質問する赤田かつのり議員

前進した他の市民要求

- ★小中学校への学校司書の配置拡充
- ★バスや電車を利用して通学している児童生徒に交通費半額補助
- ★学童保育の過密解消と2019年度までにすべての高学年の受け入れ
- ★保育所待機児童対策で1200人の定員増（このうち240人は、駅前ビルなどを活用した小規模保育事業での対応。最良の保育環境を保障するという点では問題を残しています）
- ★市東部地域で特別支援学校整備の調査
- ★障がい者の社会参加促進へ、ガイドヘルプの基礎時間の延長。手話通訳者の処遇改善
- ★神戸電鉄への高齢者支援（高速鉄道は対象外）
- ★コミュニティバスの拡充、コミュニティタクシーの導入
- ★消防団員の装備充実
- ★地域猫の不妊手術に対する支援拡充

日本共産党 神戸市会議員団 ―みなさんの願いを市政に届けます

西区 花房ふみこ ☎753-5287

垂水区 赤田かつのり ☎753-5287

須磨区 山本じゅんじ ☎732-6578

長田区 森本 真 ☎050-5806-7078

兵庫区 大かわら鈴子 ☎577-7987

北区 金沢はるみ ☎591-4755

灘区 味口としゆき ☎881-2581

東灘区 西 ただす ☎412-4435

東灘区 松本のり子 ☎412-4435